



旭市こども発達センター



目次

巻頭写真「旭市こども発達センター」 1
令和6年度事業計画概要 2
海上療養所院長就任挨拶 2
聖母療育園園長就任挨拶 3
事業所長就任挨拶 3
ロザリオの聖母後援会に感謝 6
川野小児医学奨学財団様より小児医療施設支援金 6
介護ロボット等導入支援事業の補助金 7
加藤八千代様からの寄附 7

第30回ロザリオの聖母会合同研修会 7・10
今年度の新入職員 8
新任者紹介 8
寄附者御芳名 8
ロザリオの聖母会女性活躍推進法行動計画 9
ロザリオの聖母会次世代育成支援行動計画 10
Photo Gallery 11
「私のオシメン」file16 (佐原聖家族園) 13
職員・ボランティア募集のお知らせ 14

令和6年度事業計画概要

業務執行理事 白井正和

新型コロナウイルスの影響による閉鎖的な運営から開放的な状態に戻していく。

また、報酬改定、完全週休2日制度の実施、物価高騰対策、人材確保等を含めた運営の見直しを図る。

社会福祉法人としての医療、福祉サービスの基盤としながらも地域コミュニティの機能、特に地域における課題を把握するとともに今後の事業運営の見直しを図る。また、地域における他法人等との具体的な協働事業等の連携を探る。

執行役員体制による法人の課題、将来設計の基礎を検討する。また、将来の管理者を育成するため、キャリアアップするに広い視野を持てるよう倫理観、価値観を高め、異動による経験の積み上げを行っていく。

人材確保と共に対人援助は必要でない業務については効率化を図り、ICT活用を推進していく。

令和6年度の重点目標

- ① 中長期計画の策定
- ② 組織再編（海上療養所を重点とする。）
- ③ 人材確保（障害者確保、外国人材、職員の適材適所）
- ④ 利用サービス（権利擁護、意思決定支援の理解と実施）
- ⑤ 総合的な非常時の対応（BCP、福祉避難所等）



海上療養所院長就任挨拶

海上療養所 院長 茂木伸一

2024年4月より海上療養所の院長を拝命いたしました茂木です。

2023年3月に海上療養所に赴任させていただき、右も左もわからないまま職員のみなさんに助けられてようやく今日に至っています。そんな僕が院長になるなど想像もしていませんでしたが、ここに来て最近思うことは、病院ごとにいろいろな「空気感」があるものだなあとということ。トップダウンで何事も決まっていくなかなか進んでいく病院もありました。緊張感漂う病院もあれば、のんびりした時間が流れてゆく病院もありました。そんな中で僕が海上療養所の院長をさせていただくのであれば、みなさんの意見をなるべく聞かせていただきながら、職員さんや患者さんとゆっくりと歩いて行けたらいいなあと考えています。僕が院長であるかどうかが大切なのではなく、いつの間にか共に歩んでゆき、他愛のない話をしながら進んでいける仲間でありたいと思います。

精神科医療はここ十年、大きな転換点を迎えています。そんな中で、患者さんとの向き合い方も変わってゆくのかもしれません。しかしながら、そういう時でも海上療養所はみなさんと共に歩み続け、いつか光の当たりやすい場所へとたどり着き、みんなでパンでも分け合って食べながらゆっくりにできることを夢見ています。そして、「海上療養所ここにあり」と言われるような、地域の皆さま方のお力になれるような病院にしたいなとも考えています。

そのために、さまざまな、そして時に痛みを伴う改革を行っていくことになるかもしれませんが、僕とともにさりげなく歩んでいただければこれ以上の幸せはありません。

力の及ばないことも数々あるかとは思いますが、よろしくお願ひいたします。



聖母療育園園長就任挨拶

聖母療育園 園長 山本重則

この度、桑島克子先生の後任として聖母療育園の園長に就任しました小児科医の山本重則と申します。1981年に千葉大学医学部を卒業後、千葉大学医学部附属病院小児科、千葉市立病院小児科、松戸市立病院新生児科、下志津病院小児科等での臨床研修を経て、小児科専門医を取得し、先天代謝異常分野での研究で医学博士号を取得しました。2000年以降は国立病院機構下志津病院で重症心身障害医療を中心に診療と臨床研究をおこなってきました。今回、こちらに赴任することとなり、聖母療育園開設時に下志津病院から患者様を紹介させていただいたことや、下志津病院で重症心身障害のB型通園事業を開始する際に聖母通園センターを見学させていただいたことなどを懐かしく思い出しています。

千葉県では、1990年、当時の聖母療育園の松井熙夫園長と下志津病院の森和夫院長の発案により、千葉県内の国立・公法人立

全ての重症心身障害施設と千葉県重症心身障害児者を守る会からなる千葉県重症心身障害連絡協議会が設立され、各施設が協力しあつて、毎年、総会・研修会が開催されています。私も当協議会の副会長として千葉県内の重症心身障害施設の連携推進に努力してきました。このような経緯も評価していただいで、今回の聖母療育園園長就任に繋がったものと理解しています。法人立施設である聖母療育園と国立病院機構病院重症心身障害棟とは、趣を異とする部分

も多いですが、多職種のスタッフが協力し合つて、患者様のより質の高い生活を目指していくことは共通していると思います。これまでの下志津病院時代の副院長等の管理職の経験、医療安全対策委員会・院内感染対策委員会・人権擁護委員会・電子カルテ委員会等の委員長としての経験を活かして、聖母療育園の益々の発展に尽力していく所存でございます。皆様、よろしくお願い申し上げます。

事業所長就任挨拶

聖母通園センター

所長 山中悦子

この度、聖母通園センターの所長に就任いたしました山中悦子と申します。平成元年4月に当法人の聖母療育園（重症心身障害児者・入所施設）に支援員として就職いたしました。当時は、開設したばかりの施設で知識や技術が乏しい中、戸惑う日々でした。私が関わってきた利用者の方々は、言語的コミュニケーションが難しいため、どのように関われば良いか考えながら支援していたところ、表情や身体の動きで気持ちを表現してくれることが分かりました。その時の喜びは何物にも代えがたいことでした。それから看護師・支援員と協力し合い皆さんが喜んでいただける支援を更に学ばせていただきました。

聖母通園センターは、平成10年4月に聖母療育園デイサービス「のびのびハウス」としてスタートし、現在は生活介護・児童発達支援事業・放課後等デイサービス

の多機能型事業所となりました。私は平成23年から当センターへ異動し現在に至っております。

毎日登園時にはご家族からの情報を聴くことで「安全・安心」して利用できるような心掛けています。また、地域で暮らしながら生活を整えながら楽しく充実した時間が過ごせるような施設づくりを行っていきたいと思います。今後通所事業として利用者の健康維持及び潤いづくり・介護負担の軽減になるよう利用者・ご家族が抱える問題等と一緒に向き合い・寄り添い合いながら関係機関との連携をとり安心して地域で暮らせるよう職員一丸となって努力していきたいと思っております。

開設当初から今日まで、携わってきた方々の思いを大切に、新たな一歩を踏み出したいと思えます。微力ではありますが、精一杯努めてまいりますのでご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

旭市こども発達センター

所長 鈴木祐子

この度、前任者より業務を引き継ぎ、一年間の管理者を経て旭市こども発達センター所長の職を拝命いたしました鈴木祐子と申します。平成元年にロザリオの聖母会に入職し、聖母療育園保育士、授産施設みんなの家の立ち上げメンバーとして関わり、平成25年3月に児童発達支援事業所旭市こども発達センター準備室に配属され二度目の事業所の立ち上げに携わることになり、感謝と共に身の引き締る思いに立ち返ったことを記憶しています。

旭市こども発達センターは、市民の声から始まり、産声をあげてから令和6年4月には12年目を迎えます。センター開設以前は、公立保育所内において子育て支援センターの機能として障害児保育を行っていました。「市内に就学前の療育機関がほしい」という長年のニーズに応えるかたちで設置された経緯があります。

当初は、近隣の市や町の同業施設に研修をお願いして技術や知識の習得に励む傍ら、当事業所の周

知に力を注ぎ、まずは知ってもらうことを大切にしました。現在は、旭中央病院、市の幼児健診、子育て相談、保育所、幼稚園からの紹介や療育相談により、利用に繋がっています。

成長発達のゆっくりなお子さんに遊びを通して身体の使い方やパランス感覚、基本的な生活習慣や、コミュニケーションの方法など、楽しく成功体験を積み重ね習得できる場としています。また、お子さんの成長発達に悩みを抱える保護者に寄り添い、着実に成長する子どもの姿を知ることが安心につながる、我が子の持っている力に気づく、子どもと遊ぶ楽しさを伝えていきます。保護者が子どもにとつて一番の理解者になるようサポートしてまいります。

自分一人では何もできませんが利用者の為に、スタッフ一人ひとりが輝き協力しながら、皆様の思いに少しでも応えられるように精一杯努めてまいります。

一人でも多くの人に笑顔のあふれる地域社会になるよう尽力したいと考えています。変わらぬご支援とご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

ロザリオ高齢者支援センター

所長 遠藤せつ子

この度、ロザリオ高齢者支援センターの所長を拝命いたしました。よろしくお願ひいたします。

私が福祉の仕事に就いたのは平成11年の春、病院の看護助手としてのスタートでした。当時の私は(お恥ずかしいですが)、介護保険のことも、ヘルパーやケアマネジャーという資格があることも知りませんでした。その後、老人保健施設へ異動となり、介護員として自宅へ戻ることを目標に『生活リハビリ』を中心に、約8年お手伝いさせていただきましたが、退所後の生活(自宅へ帰ったあと)にもかかわらず、介護支援専門員の資格を取得したことを機に、平成19年2月にロザリオの聖母会へ入職し、高齢者支援センターで17年間お世話になっております。勿論、在宅の経験は全くありませんでしたし、知識もかなり不十分だった私を、丁寧にご指導いただいた上司・先輩方、法人内他施設・事業所の皆さまにはたいへん感謝しております。

高齢者支援センターは平成13年

の介護保険制度の開始に合わせて開所されました。人員も徐々に増員し、平成22年からは特定事業所加算Ⅱを取得し、現在はケアマネジャー4人体制が定着しております。相談経路は様々ですが、以前かかわりのあった利用者さまのご家族や、ご家族さまからの紹介、関係機関の皆さまからの相談等、事業所としてはありがたいことに忙しくさせていただいております。これからも、人とのつながりを大切に、一つひとつのケースを丁寧に対応していくことが重要だと考えます。また、前任の井上所長が築き上げた信頼と実績を受け継ぎ、地域での役割が果たせるよう、職員で共働し努力していきたくと思っております。

法人の特性として、障害・医療・介護と、すべての分野において近い存在であること、相談しやすい環境であることはたいへん心強く、これまで幾度と助けていただきました。これからは少しでもお役に立てるよう、日々精進していきたく思います。まだまだ未熟者ではありますが、今後もお指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

デイサービスセンター・ローザ

所長 島田正江

この度、デイサービスセンター・ローザの所長に就任いたしました島田と申します。平成12年にロザリオの聖母会に入職し、海上療養所、聖母療育園、聖家族園、デイサービスセンター・ローザ、聖家族作業所でお世話になりました。令和2年4月に再びデイサービスセンター・ローザに異動となり現在に至ります。入職して24年、事務業務と支援業務の両立、平坦な道のみではありませんでしたが、それぞれの異動先での経験は、今日私の強みとなっています。なにより、利用者の皆様、ご家族の皆様との関わりは私の財産となつて、心を豊かにして下さったことに、深く感謝申し上げます。

職員6名で運営しております。

旭市の高齢化率は30%を超え、一人ひとりが抱える問題も多様化している中、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、私達はロザリオの聖母会の精神に則つて、①利用者を中心にあるケアの提供②安全面、衛生面に配慮した快適な空間づくり③利用者の感情に寄り添い、心身のチカラが発揮できる支援体制④生活の中でのリハビリ⑤地域貢献（地域の催し物に参加・ゴミ拾い等）⑥アクティブエイジング、年をとることを楽しむプロセス・活発な高齢者を目指して日々活動する（特別プログラム）「おやじーずの会」という方針で支援しております。

特に皆様の楽しみでもある入浴は、四季折々の草花や果実が広がる庭園を一望でき、当事業所の自慢できる景色です。ぜひ見学をお待ちしております。

最後に、微力ではありますが皆様の想いに少しでも応えられるよう、頼もしいスタッフと一緒に精一杯努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

聖ヨセフつどいの家

所長 葉計里美

この度、聖ヨセフつどいの家の所長に就任いたしました、葉計と申します。ロザリオの聖母会に入職し17年が経ちました。平成18年4月にみんなの家に入職。その後、佐原聖家族園の支援員として食品加工班の新商品の開発等を行い、平成26年4月に聖ヨセフつどいの家に支援員として勤務し現在に至ります。

聖ヨセフつどいの家は、生活介護と放課後等デイサービスの事業を行う多機能型の事業所です。重症心身障害の方を中心に、年齢や障害種別など様々な方にご利用いただいております。統括をする立場で業務を受け、通所事業所としての地域福祉の一翼を担うものとして、ご利用者やその家族と向き合い、また寄り添い「安心して暮らせる地域づくり」を目指し、関係機関と共に模索しながら進めているところですが、以前からの課題の一つである夕方のケアについて、環境を整えて4月からスタートすることとなりました。ご利用者やご家族の思いやニーズに寄り添い、

丁寧に進めていく所存でございます。そして、施設の風通しを良くし職員一人ひとりが気持ちの良い挨拶と「目配り、気配り、心配り」ができるよう努力していきます。

さて、昨年度聖ヨセフつどいの家は10周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深くお礼申し上げます。ここに至るまでには、沢山の方々に尽力していただいたこと、この場を借りて感謝申し上げます。

最後に、福祉とは「自分の幸せ・皆の幸せ」だと私自身思っています。聖ヨセフつどいの家に来てくださる皆さんが安心して地域で暮らしていけるように、関係機関との綿密な関係性づくりや法人内の職員間の協力的体制等、更なるサービスの向上と人材育成に繋げてまいります。また、歴代の所長から教えていただいた沢山の思いを胸に、事業に取り組んでまいります。

至らないところが多々あり、力不足ではございますが、精一杯努めてまいります。職員一同更なる発展のために、一丸となつて精進してまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ロザリオの聖母後援会に感謝

デイサービスセンター・ローザ 所長 島田正江

デイサービスセンター・ローザでは、令和5年度「ロザリオ後援会」活動におけるご寄附を賜り、特浴機の入替えを行うことができました。

地域密着型通所介護事業のため、地域に根差したサービスを実施することで、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の維持向上、更に利用者家族の心身の安定、介護負担の軽減を図ることを目的に、支援を行っています。

特浴機の入替えに関しましては、平成23年4月開所より12年が経ち、特浴機の故障も増え安心安全なサービスの提供も危ぶまれた中での念願の入替えであり、市内でも特浴機を入れている事業所は少なく、事業所の強みでもあります。なにより利用者の皆さまから「気持ちいい・あったかい」と言う言葉と笑顔に癒されています。

あらためまして、この事業に賛同いただき、ご寄附をいただきました後援会の皆さまに感謝申し上げます。

げます。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



川野小児医学奨学財団様より小児医療施設支援金

聖母療育園 主任支援員 菅井健二

この度、川野小児医学奨学財団様から小児医療施設支援金を頂き活動道具として、モグ、ハンモック、スヌーズレングズを購入させていただきました。

コロナ禍で園内活動することが増えたので活動時間に有意義に使用させていただいています。モグでは体を委ねゆっくりと過ごしたり、スヌーズレンでは光の世界に癒され、ハンモックは揺れを楽しみと、たくさんの利用者さんが体験しリラックスされ笑顔が見られています。これからも利用者さんの憩いの場、笑顔の為、大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



モグ



スヌーズレングズ



ハンモック

介護ロボット等導入支援事業の補助金
 聖マリア園 主任支援員 小森正道

介護ロボット等導入支援事業の補助金から超低床ベッド3台、低床ベッド3台を購入させていただきました。超低床ベッドは、ベッドのボトム面の高さが低く布団と変わらない高さで寝られる低床の電動リクライニングベッドです。低床ベッドは、転落防止などのために、就寝時に床面を低く調整できる介護用のベッドです。どちらも利用者や職員に優しく、利用者にとっては、転落防止になり安心・安全な点があります。職員に関しては、電動で操作ができるため、ベッドの高さが調整でき乗降の際にとっても活用できます。利用者にとってベッドは欠かせない生活の一部です。介護ロボット等導入支援事業の補助金をいだけたことに感謝申し上げます。



加藤八千代様からの寄附
 佐原聖家族園 支援員 柳太揮

令和6年3月4日、加藤八千代様から、千葉県香取郡神崎町にある久松新聞店から頂いた液体洗剤の寄附を頂戴しました。ありがとうございます。



第30回ロザリオの聖母会合同研修会
 聖母療育園 事務長 林勝己

3月2日(土)第30回ロザリオの聖母会合同研修会が中沢ホールにて開催されました。コロナ禍での中止後、昨年度の観覧なしのリモート開催を経て、今年度は観覧人数を制限した集合形式とZOOMを使用したリモート形式のハイブリット型で開催となりました。法人内施設から6演題の発表があり、理事長奨励賞は聖家族作業所「自閉症者が楽しく過ごせるように」我々ができる支援とは」が、敢闘賞は、聖母通園センター「重症心身障害者への意思決定支援」取り組みから見えてきたこと」が受賞しました。また、今回は、新たな試みとして、研究発表後に令和2～5年度の年度別入職者研修の報告会として各年度の受講者からの発表もありました。皆さん緊張した面持ちながらもしっかりと発表ができており、将来が楽しみにになりました。

実行委員会では、当初の準備段階より感染対策を意識した集合形式開催、かつ、将来につながる新

たな研修会にしていくというハードルを上げてのスタートでした。まず、この研修会のあり方として経験の浅い職員の育成の場としての研修会であることが職員共通の理解であることを確認し、その上で開催要綱を作成しました。また、研究発表の他、症例報告、事例報告など学会同様に幅広い見識での発表会となるよう企画しました。審査評価基準も職員の熱意や、実用性の項目も追加したことや審査員から発表者へのコメント記載など、登壇した職員がやってよかったと前向きに捉え、成長につながるように見直させていただきました。

会が終わわり、会場では発表者やスタッフをはじめ関係した皆さんの達成感と安堵な表情、自然な笑顔が印象に残っています。顔を合わせこのような会ができることが喜ばしく思いました。

開催にご協力いただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

聖家族園



支援員

4月より新しい職員として働かせていただきます。右も左もわからず、至らない所もありますが、よろしくお願いたします。

神谷龍汰

聖マリア園



支援員

4月より聖マリア園に配属となりました。慣れないことが多く、失敗することもあると思いますが、一生懸命頑張ります。

網中翔輝

聖母療育園



看護師

4月より看護師として勤務させていただくことになりました。1日でも早く、みなさまのお力になれるよう頑張ります。よろしくお願いたします。

多田麻衣子

ワークセンター



支援員

4月よりワークセンターに配属となりました。不安も多く失敗することが多いと思いますが、少しでも力になれるよう、頑張ります。

岡野悠翔

海上寮療養所



看護師

4月より海上寮療養所に配属となりました。患者様の安全を第一に、少しでも力になれるよう、精一杯努力してまいります。

麦倉夏美

今年度の新入職員



入社式・辞令交付式

佐原聖家族園



支援員

4月より佐原聖家族園に配属となりました。新しい環境ということもあり、様々な不安はありますが精一杯頑張ります。

門川美佐季

聖家族作業所



支援員

不慣れなことも多くご迷惑をおかけすることもあると思いますが、利用者の皆様に寄り添った支援ができるよう精一杯努めてまいります。

平山愛佳音

みんなの家 東総就業センター係



生活支援/カー

分からないことが沢山ありますが、頑張ります。よろしくお願いたします。

伊藤さおり

聖家族園



調理員

2月より入職となりました。調理業務の経験はありますが、また一からのスタートとなりますので、早く覚えられるように頑張りたいと思います。

高木利江子

聖母療育園



調理員

今年度より聖母療育園に調理業務に勤務させていただきます。他施設での調理経験はありますが、聖母療育園の調理業務は特殊で今までは異なる部分もあるため、先輩達のご指導のもと頑張りたいと思います。

筒井浩

ワークセンター



支援員

私はチエウと申します。2021年に日本に来ました。介護の仕事が好きで、聖母療育園で2月から働いています。皆様よろしくお願いたします。

グエンティ・ヴォン・チウ

聖母療育園



看護師

聖母で非常勤の事務として3年間働いていました。その後4年間看護師の資格を取得するために通学し、4月より病棟で勤務しています。頑張りたいと思います。

向後沙季

新任者紹介

ナザレの家あさひ



支援員

4月から常勤として勤務させていただくことになりました。利用者さんが笑顔で安心して過ごしていただける環境を作れるように頑張りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

飯田麻里

旭市中央地域包括支援センター



看護師

4月から中央地域包括支援センターにお世話になっております。地域の皆様との交流を通して、少しでもお役に立てれば幸いです。どこかで見かけたら声を掛けていただければ嬉しいです。

高安きみ江

寄附者御芳名

令和6年1月~3月31日

- 渡邊公伸様
- 江波戸隆夫様
- 森山邦代様
- 服部綾子様
- 旭キリスト教会様
- 浜口景子様
- 聖心女子学院五月会様
- 代表者 雨宮美和様
- 越川一幸様
- 外岡則子様
- 浜口勝喜様
- ヒゲタ醤油(株)様



ロザリオの聖母会女性活躍推進法行動計画

女性がその個性と能力を十分に発揮して職業生活において活躍することが、一層重要となっていることに鑑み、男女社会基本法の理念にのっとり、次のように行動計画を策定する。

- 1 計画期間 2024年4月1日から2027年3月31日の3年間
第4期(2024、2025、2026年度)

2 内容

目標1 【管理職(課長級以上)に占める女性割合を40%以上を維持する。】

- ①中間管理職基礎研修を積極的に活用する。
- ②育児、介護、家庭、地域、自己啓発等職員の「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」に柔軟な職場環境を整える。
- ③10項目の点検とその評価に取り組み、その内容を内部へ周知し外部へ公表する。

目標2 【有給休暇取得率60%以上を維持する。】

- ①年次有給休暇の取得率を60%以上を維持する。
- ②育児、介護、家庭、地域、自己啓発等職員の「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」に柔軟な職場環境を整える。
- ③10項目の点検とその評価に取り組み、その内容を内部へ周知し外部へ公表する。

3 対策

- ・法人の月報(職員向け広報紙)や法人内LANを活用して周知・啓発を実施します。
- ・10項目の点検評価を実施し、管理者に報告します。また、点検評価を内部へ周知し、外部へ公表します。

ロザリオの聖母会では、女性の活躍に関する状況把握として以下の10項目の点検とその評価に取り組み、その内容を内部へ周知し外部へ公表します。

【基礎項目】

①	1	採用した労働者に占める女性労働者の割合(区)	令和4年度 実績値	常勤	59.1%	非常勤	54.6%
②	2	男女の平均継続勤務年数の差異(区)	令和5年 4月1日	常勤男	13.6年	非常勤男	16.2年
				常勤女	12.6年	非常勤女	14.3年
③	3	労働者の各月ごとの平均残業時間数等の労働時間の状況	令和4年度 実績値	常勤	3時間11分	非常勤	20分
④	4	管理職に占める女性労働者の割合	令和5年 4月1日	33.3%			

【選択項目】

⑤	1	採用 ・労働者に占める女性労働者の割合(区)(派)	令和5年 4月1日	常勤	61.8%	非常勤	75.2%
⑥	2	配置・育成・教育訓練 ・男女別の将来の人材育成を目的とした教育訓練の受講の状況(区)	令和4年度 実績値	男	48.4%	女	51.6%
⑦	3	継続就業・働き方改革 ・有給休暇取得率(区)	令和4年度 実績値	常勤	74.6%	非常勤	88.7%
⑧	4	評価・登用 ・男女別の1つ上位の職階へ昇進した労働者の割合	令和5年 4月1日	男	3.6%	女	5.7%
⑨	5	職場風土・性別役割分担意識 ・セクシュアルハラスメント等に関する各種相談窓口への相談状況(区)(派)	令和4年度 実績値	常勤	100.0%	非常勤	0.0%
⑩	6	再チャレンジ(多様なキャリアコース) ・男女別の再雇用又は中途採用の実績(区)	令和4年度 再雇用	常勤男	100.0%	非常勤男	0.0%
				常勤女	100.0%	非常勤女	0.0%
			令和4年度 中途採用	常勤男	42.0%	非常勤男	45.0%
				常勤女	58.0%	非常勤女	55.0%

Photo Gallery

★聖母通園センター★



新成人、おめでとう!



豆まきをしました♪

★聖母療育園★



学生さんと元気よく活動をして
過ごしてます ^ _ ^



お楽しみ会にて
お花にデザインをしました🌸



ハンモックに揺られ
気持ちいい~月



🌸3月 誕生日会♪
~お誕生日おめでとうございます~

★聖マリア園★



鬼とは仲良しです



鬼は外福は内

マリアデイサービス



良い年でありますように。。。



餅つきペッタン



チュパチュパワンダーランド
と一緒に🌸

★デイサービスセンター・ローザ★



おやじーずの会で銚子の灯台へ



社会体験で東総クリーンセンターへ

★佐原聖家族園★



桜餅美味しいよ♪



可愛く出来ました♪



ひな祭り仕舞 トントン相撲対決中!!

★聖ヨセフつどいの家★



お誕生日おめでとう(๑) /
かわいいプレゼント♡



おいしくなあ〜れおいしくなあ〜れ🍴



ひなまつり 🏮

★ワークセンター★



今年も咲いたなあ



おお!今年の運勢は。。。三ツツ



団子食べていい笑顔

私のオシメン file 16



【出身地】 茨城県潮来市
 【職種】 調理員
 【職歴】 2023年7月～佐原聖家族園
 【趣味】 食べ歩き



入職したきっかけは？

1 小さい頃から料理をすることが好きで、もっといろいろな料理を覚えたいという思いから調理の仕事に就きたいと思いました。そのとき、ロザリオの聖母会を知り、通勤を考え佐原聖家族園での勤務を希望しました。



ロザリオの聖母会の魅力は？

2 まだまだ覚えることばかりで、辛いことも多々ありますが、厨房のみならず各部署の皆様がよくしてくれるので自然と笑顔になれるところが魅力です。



今後の意気込みは？



3 利用者、職員と食事を通して、皆様が笑顔になれるような食事を提供できるように、上司、先輩方からいろいろと教わり、日々、自己研磨に励んでいきたいです。

《職員募集のお知らせ》

ロザリオの聖母会では、「光のあたりにくい人々とともに歩む」という経営理念の下、多様な福祉サービスを総合的に提供できるよう、複合施設を運営するとともに、地域生活支援のため訪問、相談サービス事業等も実施し、利用者の豊かな地域生活を支援するよう努めています。職員の福利厚生、研修、育児介護休業制度等働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。

□2025年4月新卒職員募集

職種	事業所	採用数	資格
支援員	障害者支援施設 (入所系・通所系)	20名	短大専門卒以上 普通運転免許

- 既卒3年以内の正職員も上記と同条件で随時募集中！
- 障害児者医療に携わる看護師も随時募集中！

・応募 随時面接を行っていますので、法人本部採用係までご連絡ください。

0479-60-0600(担当/採用係)

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479(60)0600
(担当 ボランティア係)

職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる看護師を募集しています。

◆随時面接を行っていますので、本部事務課までご連絡ください。

TEL 0479(60)0600
(担当 採用係)

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトに
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

医療保護施設

海上療養所

訪問看護ステーション

ソフレイ

就労継続支援B型事業所

ワークセンター

医療型障害児入所施設・療養介護事業所

聖母療育園

生活介護・児童発達支援等デイサービス

聖母通園センター

児童発達支援事業・放課後等デイサービス・相談支援事業

ロザリオ発達支援センター

旭市子ども発達支援センター

障害者支援施設

障害者支援施設

障がい者の就労促進事業所

聖マリア園

生活介護事業所

みんなの家

共同生活援助事業所

ナザレの家あさひ

地域包括支援センター

旭市中央地域包括支援センター

高齢者支援事業

ロザリオ高齢者支援センター

通所介護・介護予防通所事業所

デイサービスセンター・ローザ

障害者支援施設

佐原聖家族園

生活介護・放課後等デイサービス

聖ヨセフつどいの家

共同生活援助事業所

ナザレの家かとり

地域生活支援センター

友の会

中核地域生活支援センター

海匠ネットワーク

障害者就業・生活支援センター

東総就業センター

香取市相談支援センター

香取障害者支援センター

障害者就業・生活支援センター

香取就業センター

香取就業センター

香取就業センター



このロゴマークは、師イエズス修道女会 北爪悦子修道女 により作成されました。